

THREEUP

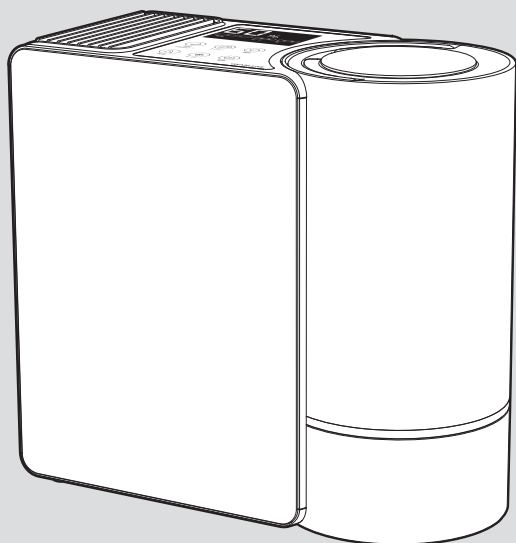
THREEUP

気化式加湿器

「グランリュクス」CLシリーズ

CL-T2269

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

安全上のご注意	1~3
各部のなまえ	4~5
パッケージ内容	5
別売品	5
仕様	5

ご使用前に

知っておいていただきたいこと	6
設置について	6
水タンクに水を入れる	7~8
リモコンについて	8

ご使用方法

運転する	9
停止する	10
運転モードを切り替える	11~13
湿度を設定する	14~15
オフタイマーを設定する	16
オンタイマーを設定する	17
消灯モードを設定する	18
水タンクの水がなくなると	18

点検・修理

お手入れと保管方法	19~23
コンセントの点検	24
故障かな?と思ったら	25
保証・サービス	26

はじめに





安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、故障、ケガの原因になります。
修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気が多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様だけで使わせしないでください。
感電やケガ、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショート、発火の原因になります。

吹出口から給水しないでください。
故障や感電、水漏れの原因になります。

吹出口や吸気口、すき間にピンや針金などの異物を入れたり、ふさいだりしないでください。

- ・ケガや事故の原因になります。
- ・過熱による本体の変形、発火の原因になります。

吹出口から出る空気を故意に吸入しないでください。

健康を害する原因になります。

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。
また、本体に向けて吹きかけないでください。

爆発や火災の原因になります。

乳幼児の手の届くところにボタン電池を置かないでください。

ボタン電池を誤飲する原因になります。
万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。

ボタン電池を火の中に入れてたり、水に濡らしたりしないでください。

また、分解や加熱をしないでください。
破裂や発熱の原因になります。

電源は必ず家庭用100V電源で使用してください。

異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



必ず守る

警告

電源コードと電源プラグを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだりしないでください。
- 損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。



必ず守る

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。
- 高温になる場所(屋外、直射日光の当たる場所、ストーブやガスコンロの近くなど)に保管しないでください。



必ず守る

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。

故障の原因になります。

家具や壁、カーテンにミストが直接当たる場所には設置しないでください。

シミや汚れの原因になります。

テレビやパソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

結露による故障や雑音が入る原因になります。



禁止



禁止

踏み台にしたり、腰掛けたり、もたれかかったりしないでください。

また、製品の上に物を置かないでください。

転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。

本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

注意

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

水平で安定している場所に設置してください。斜面など不安定な場所に設置すると、転倒により水が漏れて周囲を濡らす原因になります。

また、高所から落下すると、ケガや破損の原因になります。

加湿フィルターカバーを取り外した状態で運転しないでください。

本体内部にホコリがたまり、モーターの過熱や故障の原因になります。

水タンクと本体(水そう部)の水が凍結するような場所では使用しないでください。故障の原因になります。

湿度の高い場所(75%以上)では使用しないでください。

家具や壁を湿らせ、雑菌やカビが繁殖し異臭や故障の原因になります。

運転中は移動させたり、傾けたりしないでください。

水漏れや故障の原因になります。運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、水タンクと本体(水そう部)の水を捨ててから移動してください。

常温の水道水以外は使用しないでください。

- 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- 40℃以上のお湯や化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤とクエン酸以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。

- 電極(+/-)を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。
- 汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。



禁止

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。

水タンクと本体(水そう部)の水は毎日新しい水道水と入れ替え、常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。

水を入れ替えずに長時間使用すると、雑菌やカビが繁殖して異臭や健康を害する原因になります。

長時間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、水タンクと本体(水そう部)に残った水を捨ててください。

- 水タンクと本体(水そう部)に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
- 水タンクと本体(水そう部)に水が入ったまま保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。

ボタン電池は電極(+/-)の向きに十分注意して装着してください。

正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。



必ず守る

吹出口や吸気口に指を入れないでください。ケガの原因になります。



接触禁止

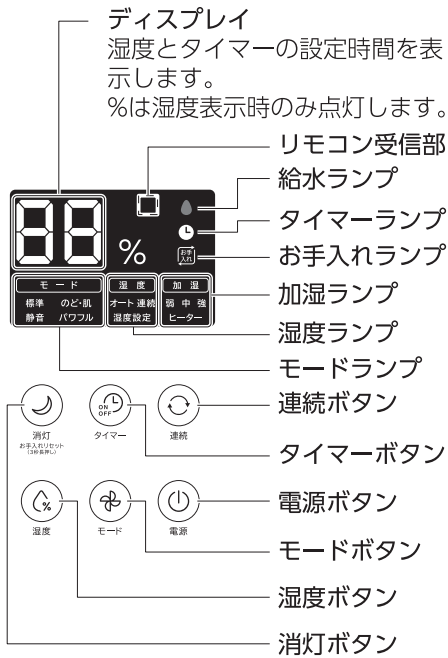


禁止

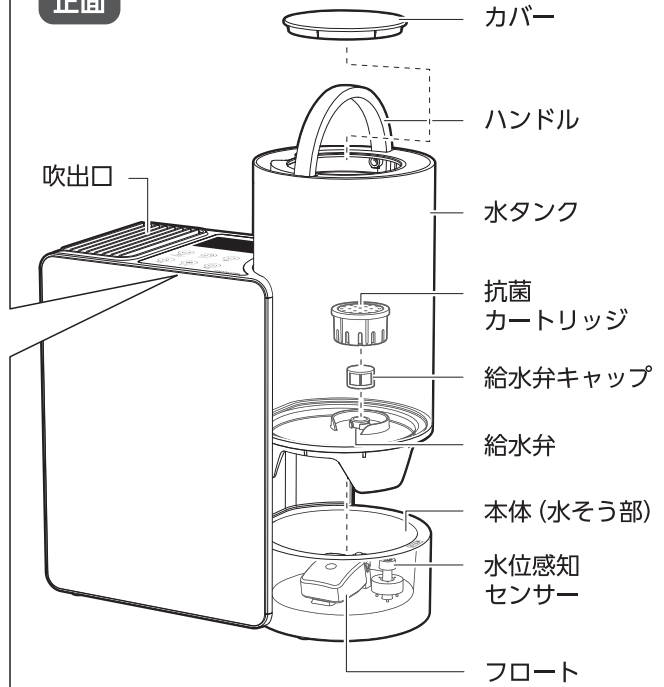
各部のなまえ

■ 本体

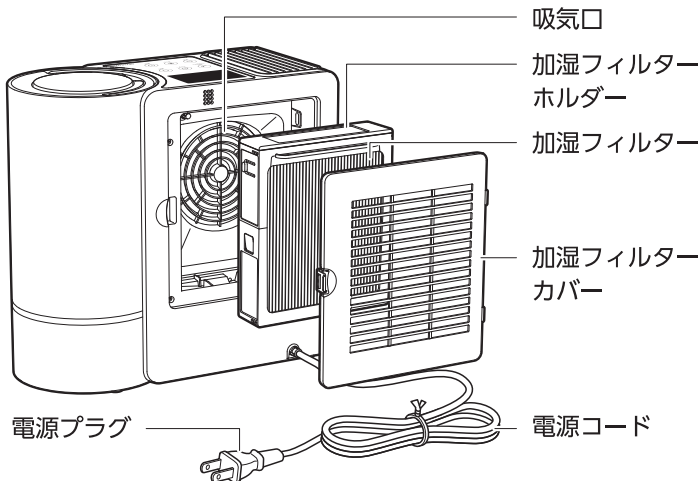
表示/操作部



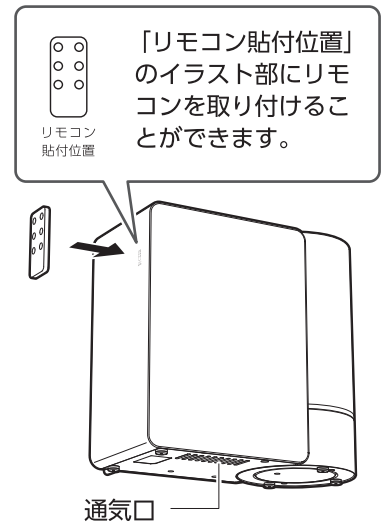
正面



背面



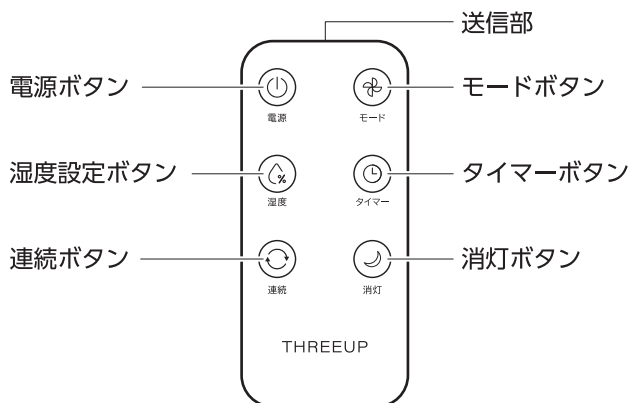
リモコン収納部/底面



はじめに

■ 付属品

- リモコン



パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	部 品 名	個数
本体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1
リモコン（CR2025電池内蔵）	1	加湿フィルター	1
抗菌カートリッジ	1	給水弁キャップ	1

別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	商品単価（税込）
抗菌カートリッジ	1	1,320 円
加湿フィルター	1	2,200 円

※ 上記の費用以外に、送料と代引き手数料がかかります。

仕様

本体サイズ	幅36×奥行17×高さ33.5cm	本体重量	約3.6 kg
材質	ABS、AS	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	375W（パワフル）、最大374W/平均249W（のど・肌）、最大373W/平均186W（標準）、5W（静音）		
タンク容量	約5.0 L	運転モード	標準、のど・肌、パワフル、静音、湿度設定：40～75%（5%単位）
加湿量	500 mL/h（パワフル）、400 mL/h（のど・肌）、300 mL/h（標準）、80 mL/h（静音）	連続運転時間	約8.5時間（パワフル）～約60時間（静音）
オン・オフタイマー設定	1～9時間（1時間単位）	加湿方式	ハイブリッド（気化式+PTCヒーター）
適用床面積（目安）	14畳（洋室、プレハブ）、8.5畳（和室、木造）	機能	消灯モード、お手入れランプ
安全装置	温度ヒューズ、温度センサー、転倒時自動オフスイッチ	コード長	約1.5 m

※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 加湿量や適用床面積（目安）は、使用環境により異なります。

ご使用の前に

知っておいていただきたいこと

■ 加湿方式について

- 気化式 …………… 加湿フィルターに水を含ませ、風を当てて加湿します。
- 気化式+ヒーター … 加湿フィルターにヒーターで暖めた水を含ませ、風を当てて加湿します。

メモ 気化式は水を含んだ加湿フィルターに風を当てて湿った空気を出す方式のため、スチーム式や超音波式のように湯気やミストは見えません。

■ センサーについて

周囲温度と周囲湿度は、本体に内蔵されているセンサーが感知する温度と湿度になります。

■ 水漏れについて

床に本体や水タンクを落下させた場合に亀裂が入り、水漏れを起こす場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

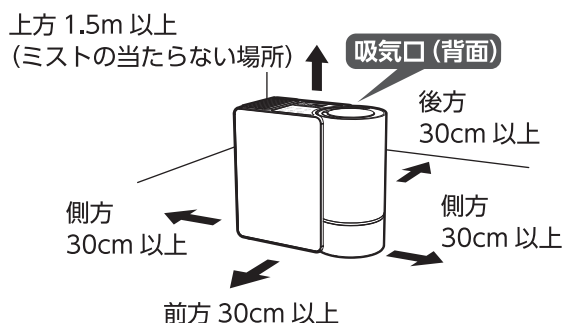
■ 抗菌カートリッジについて

抗菌カートリッジの内部には、雑菌の繁殖を防ぐためのセラミックボールが入っています。約6か月に1個を目安に、新しい抗菌カートリッジと交換してください。1週間に2回以上すすぎ洗いをしてお手入れを行ってください。

設置について

■ 設置条件

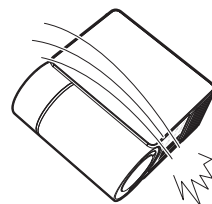
- 製品の周囲は右図で示した距離を空けてください。
- 斜面や毛足の長い敷物の上などの不安定な場所や、吸気口をふさぐおそれのある場所には設置しないでください。



■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したり、傾いたりしたときに自動で運転を停止します。

転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、同時に電源も切れます。引き続きご使用になる場合は、水平な床面にもう一度設置して『電源』ボタンを押してください。



■ 安全装置

温度が上昇しすぎると本体内部の温度センサーが感知し、自動的にヒーターが停止します。少し時間をおいて温度が下がればヒーターが作動します。

異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

ご使用の前に

水タンクに水を入れる

⚠ 注意



必ず守る

- 必ず水道水を入れてください。
一般に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。
- 水タンクと本体(水そう部)の水は毎日新しい水道水と入れ換え、常に清潔に保ち、定期的にお手入れしてください。
お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。
体質によっては、過敏に反応し、健康を害する原因になります。



禁止

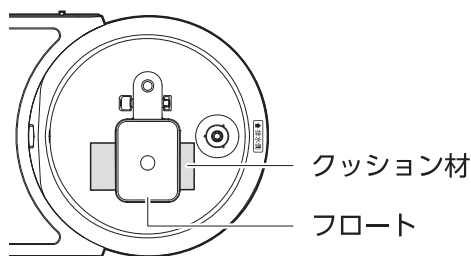
- 次のような水は水タンクと本体(水そう部)に入れないでください。
- ・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすいです。
 - ・40℃以上のお湯や化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイル、エッセンシャルオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

給水の前に

初めてご使用になるときは、水タンクを取り外し、フロートの下にあるクッション材を必ず取り外してから給水してください。

水タンクの取り付け/取り外しかたは、次ページの「水タンクを取り外して給水する場合」をご確認ください。

クッション材を取り外さないで、水が本体(水そう部)に流れません。



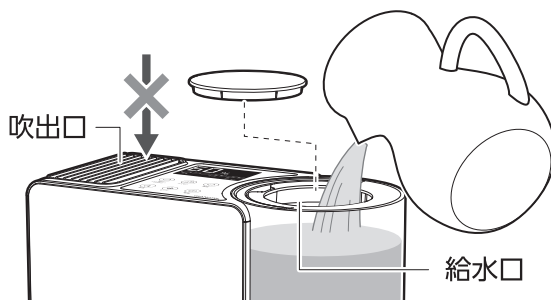
給水について

給水方法は、本体に取り付けたままで水タンクに直接給水する方法と、水タンクを取り外してから給水する方法があります。

■ 水タンクに直接給水する場合

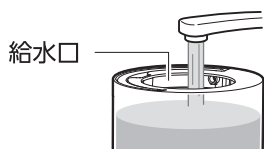
カバーを取り外し、水タンクの給水口から常温の水道水を入れます。
水差しなどを使用して水を入れてください。

吹出口に水を入れないでください。
水漏れや故障の原因になります。

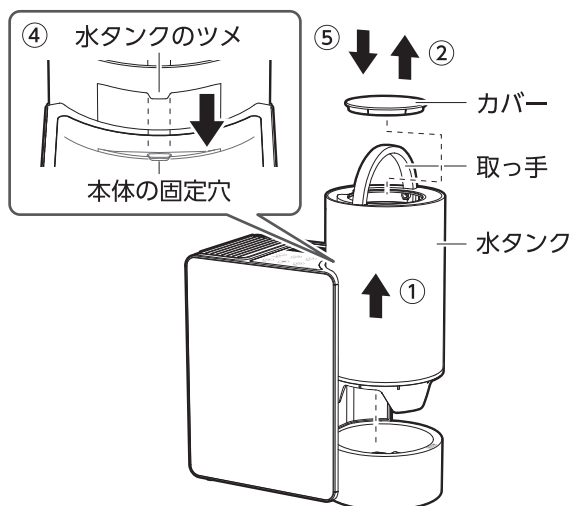


■ 水タンクを取り外して給水する場合

- ① 本体から水タンクを取り外します。
取っ手を持って取り外してください。
- ② 水タンクからカバーを取り外します。
- ③ 水タンクの給水口から常温の水道水を入れます。
洗面所や浴室などで給水してください。



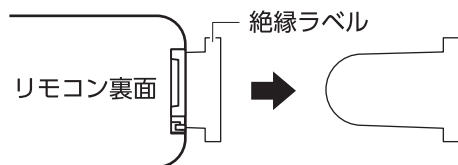
- ④ 本体に水タンクを取り付けます。
水タンクのツメを本体の固定穴に差し込んでください。
- ⑤ 水タンクにカバーを取り付けます。



リモコンについて

工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。
ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

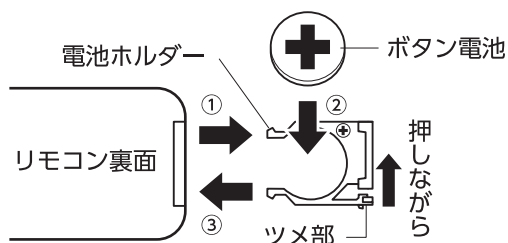
※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、
早く消耗する場合があります。



■ ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2025」です。

- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、
矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② 新しいボタン電池の【+】を上にして装着
します。
- ③ 電池ホルダーをしっかり奥まで差し込み
ます。

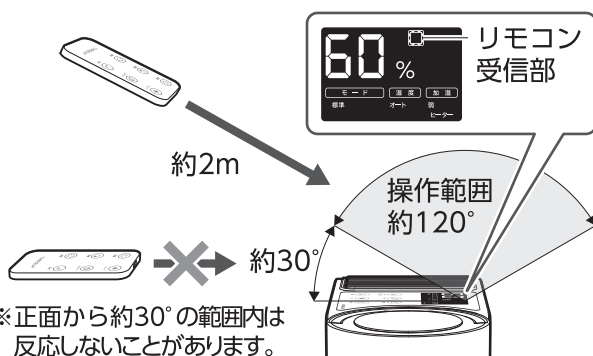


■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部
に向けて使用してください。
操作距離は直線で約2m、操作範囲は約120°
です。

テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、
まれに本体が反応して動作することがあります。
これは本製品と同じ周波数を利用している機器で
起きる現象です。

そのような場合は本体に影響しない場所でご使用
ください。

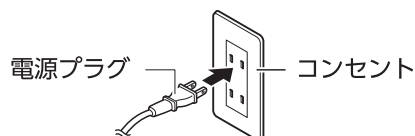


ご使用方法

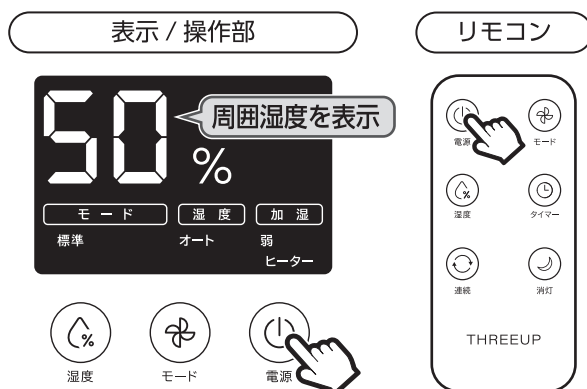
運転する

■ 運転のはじめかた

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。“ピッピッ”と電子音が鳴り、待機状態となります。



- ② 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押すと運転を開始します。
 - 本体またはリモコンのボタンを押したときは、“ピッ”と電子音が鳴ります。
 - 初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときは、標準/オートで運転を開始します。



- ③ お好みの運転に切り替えます。
運転モードの動作内容や切り替えかたは、各運転説明をご確認ください。

加湿フィルターホルダーが正しく取り付けられていないと…

“ピーッピーッ”と電子音が鳴り、ディスプレイに「E1」と表示して運転を開始できません。加湿フィルターホルダーを正しく取り付けてください。

■ 運転中の動作音について

運転中に「キューキュー」、「ギュルギュル」、「ピュー」などの音が鳴ることがあります。これらは水を吸い上げるためのポンプが作動し、まれに空気が入ると鳴る音になります。異常や故障ではありません。

■ 運転中の表示について

- 運転中はディスプレイに周囲湿度を表示します。
オフタイマー設定中は、周囲湿度とタイマー時間を表示します。
詳細は各運転モードの説明をご確認ください。

メモ 周囲湿度は本体に内蔵されているセンサーが感知する湿度になります。

◎周囲湿度が高い、または低いときのディスプレイ表示

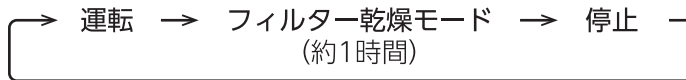
- ⇒ 周囲湿度が30%以下の場合、「Lo」と表示します。
- ⇒ 周囲湿度が80%以上の場合、「Hi」と表示します。

- ランプの点灯/点滅と消灯は、設定や状態にあわせて切り替わります。詳細は各運転モードの説明をご確認ください。

停止する

■ 運転の止めかた

運転中に本体またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、フィルター乾燥モードになり、約1時間後にディスプレイの表示が消灯して運転を停止します。



メモリー機能

- 一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。(オフタイマー設定は除く)
- 電源プラグを差し直した場合はリセットされます。

⚠ 注意



禁止

運転停止直後に加湿フィルターホルダーを取り外さないでください。運転停止後は、内部の水を循環させるため、約30秒間水が流れます。停止直後に加湿フィルターホルダーを取り外すと、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。



必ず守る

- 長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、水タンクと本体(水そう部)の水を捨ててください。
- 電源プラグを抜く場合は、必ず先に『電源』ボタンを押し、《フィルター乾燥モードの停止》を確認してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

■ フィルター乾燥モードについて

加湿フィルターに風を送り続けることで、加湿フィルターを乾燥させます。

本体またはリモコンの『電源』ボタンを押して運転を停止した場合と、オフタイマーにより運転が停止した場合は、自動でフィルター乾燥モードが作動します。

フィルター乾燥モード中はディスプレイに下図のように繰り返し表示します。1時間経過するとディスプレイの表示が消灯し、自動で運転を停止します。

表示



メモ

フィルター乾燥モード中は、『電源』ボタンのみ操作でき、『電源』ボタンを押すと運転を停止します。

ご使用方法

運転モードを切り替える

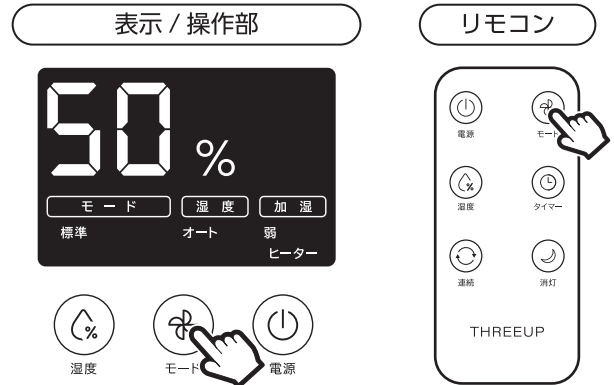
■ 運転モード一覧

	オート	連続
標準	加湿量「弱」+ヒーター「ON(10分)」→「OFF(10分)」を繰り返し運転します。周囲湿度が60%以上になると自動で運転を停止し、湿度が下がると自動で運転を再開します。	加湿量「弱」+ヒーター「ON(10分)」→「OFF(10分)」を繰り返し運転します。
のど・肌	加湿量「中」+ヒーター「ON(10分)」→「OFF(5分)」を繰り返し運転します。周囲湿度にあわせて、自動で湿度設定を切り替えます。	加湿量「中」+ヒーター「ON(10分)」→「OFF(5分)」を繰り返し運転します。
パワフル	加湿量「強」+ヒーター「ON」で運転し、周囲湿度が60%以上になると自動で運転を停止し、湿度が下がると自動で運転を再開します。	加湿量「強」+ヒーター「ON」で連続運転します。
静音	加湿量「弱」で運転し、周囲湿度が60%以上になると自動で運転を停止し、湿度が下がると自動で運転を再開します。	加湿量「弱」で連続運転します。

メモ ヒーターの「ON」と「OFF」の切り替え時に“カチッ”と音が鳴ります。

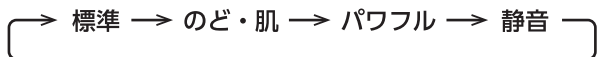
■ 運転モードの切り替えかた

運転中に本体またはリモコンの『モード』ボタンを押します。
『モード』ボタンを押すたびに運転モードが切り替わり、設定にあわせて点灯するランプも切り替わります。



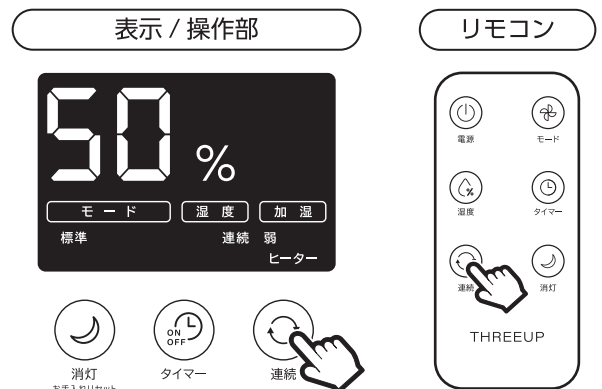
■ 運転モードの切り替わり順

運転モードは次の順番で切り替わります。



■ オート運転と連続運転の切り替えかた

オート運転中に本体またはリモコンの『連続』ボタンを押すと、連続運転に切り替わります。
連続運転中にもう一度『連続』ボタンを押すと、オート運転に切り替わります。



■ 標準運転について

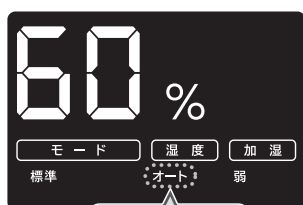
標準/オート

加湿量「弱」+ヒーター「ON (10分)」→「OFF (10分)」を繰り返し運転します。周囲湿度が60%以上になると自動で運転を停止し、湿度が下がると自動で運転を再開します。

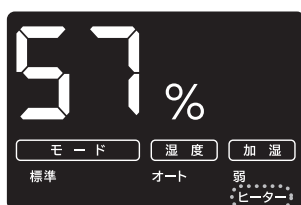
表示

周囲湿度が60%以上になると
自動で運転停止

周囲湿度が57%以下になると
自動で運転開始



停止中は点滅



OFF時は消灯

標準/連続

加湿量「弱」+ヒーター「ON (10分)」→「OFF (10分)」を繰り返し運転します。

表示



■ のど・肌運転について

のど・肌/オート

加湿量「中」+ヒーター「ON (10分)」→「OFF (5分)」を繰り返し運転します。周囲温度と設定湿度にあわせて自動で運転を停止し、周囲湿度が下がると自動で運転を再開します。

※周囲温度と周囲湿度は本体に内蔵されているセンサーが感知する温度と湿度になります。

◎(例) 製品の検知温度が20～22℃の場合

表示

周囲湿度が70%以上になると
自動で運転停止

周囲湿度が67%以下になると
自動で運転開始



停止中は点滅

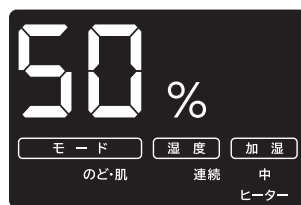


OFF時は消灯

のど・肌/連続

加湿量「中」+ヒーター「ON (10分)」→「OFF (5分)」を繰り返し運転します。

表示



◎周囲温度と設定湿度の関係

設定湿度 \ 周囲温度	19℃以下	20～22℃	23～25℃	26℃以上
60%				運転停止
65%			運転停止	
70%		運転停止		
75%	運転停止			

ご使用方法

■ パワフル運転について

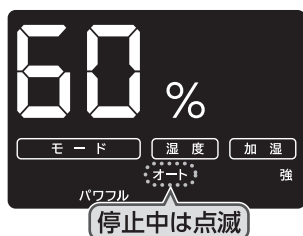
パワフル/オート

加湿量「強」+ヒーター「ON」で運転し、周囲湿度が60%以上になると自動で運転を停止し、湿度が下がると自動で運転を再開します。

表示

周囲湿度が60%以上になると
自動で運転停止

周囲湿度が57%以下になると
自動で運転開始



パワフル/連続

加湿量「強」+ヒーター「ON」で連続運転します。

表示



■ 静音運転について

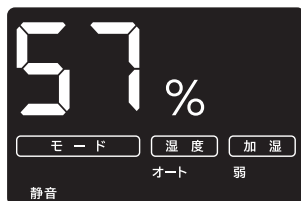
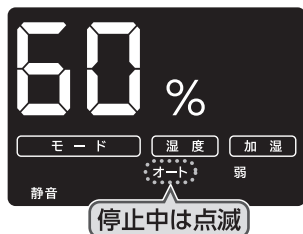
静音/オート

加湿量「弱」で運転し、周囲湿度が60%以上になると自動で運転を停止し、湿度が下がると自動で運転を再開します。

表示

周囲湿度が60%以上になると
自動で運転停止

周囲湿度が57%以下になると
自動で運転開始



静音/連続

加湿量「弱」で連続運転します。

表示

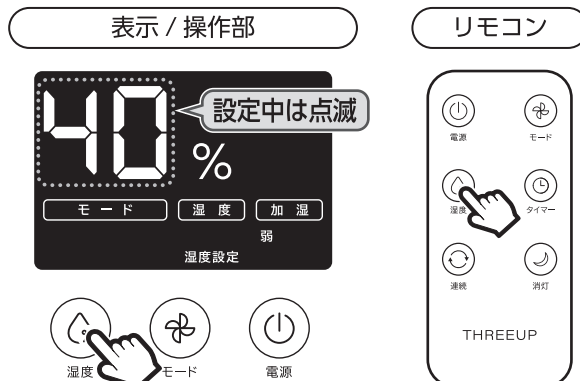


湿度を設定する

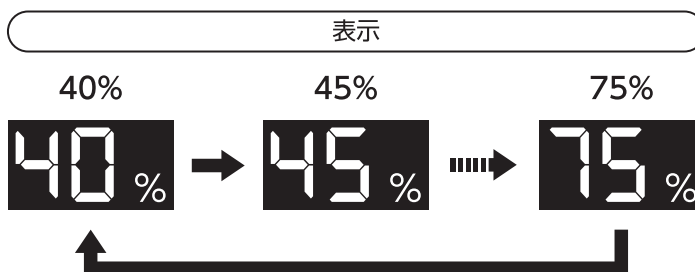
40% ~ 75%の範囲で5%ごとに湿度を設定できます。
設定した湿度に達すると自動で運転を停止し、周囲湿度が下がると運転を再開します。

■ 湿度設定のしかた

- ① 運転中に本体またはリモコンの『湿度設定』ボタンを押します。
ディスプレイが設定表示に切り替わり点滅します。
初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときの湿度設定は「40」%になります。



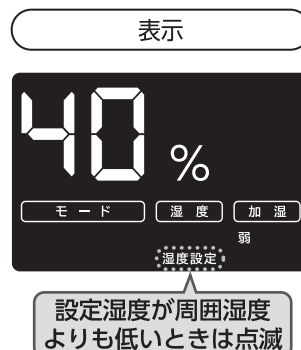
- ② ディスプレイの点滅中に、『湿度設定』ボタンを押して湿度を設定します。
『湿度設定』ボタンを押すたびに5%単位で湿度表示が切り替わります。
ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。
点滅中に『タイマー』ボタンまたは『消灯』ボタンを押した場合は、表示していた湿度で設定されます。



- ③ 湿度を設定したあと、ディスプレイが点滅から点灯に切り替わると、設定完了となり加湿を開始します。

メモ

設定湿度が周囲湿度よりも低いときは、『湿度設定』ランプが点滅し、運転が停止します。
設定湿度が周囲湿度よりも高いときは、次の動作内容にあわせて運転します。



■ 湿度設定動作中のディスプレイ表示

湿度設定動作中は、ディスプレイに周囲湿度を表示して運転します。
設定湿度を確認したいときは、『湿度設定』ボタンを押すと約5秒間設定湿度の表示に切り替わります。

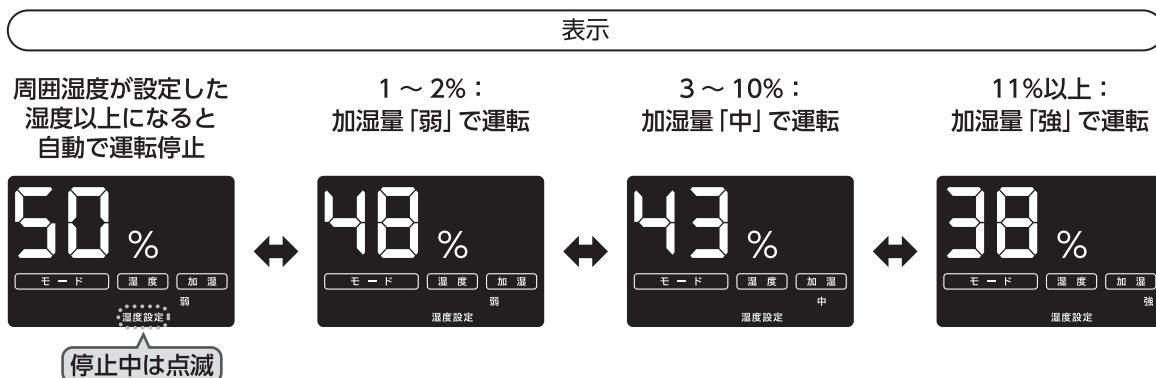
ご使用方法

■ 動作内容

設定湿度と周囲湿度の差にあわせて、次のように加湿量が自動で切り替わります。

設定湿度と周囲湿度の差	加湿運転
設定湿度 ≤ 周囲湿度	停止
1 ~ 2%	弱
3 ~ 10%	中
11%以上	強

◎ (例) 湿度を50%に設定した場合



■ 湿度設定の解除のしかた

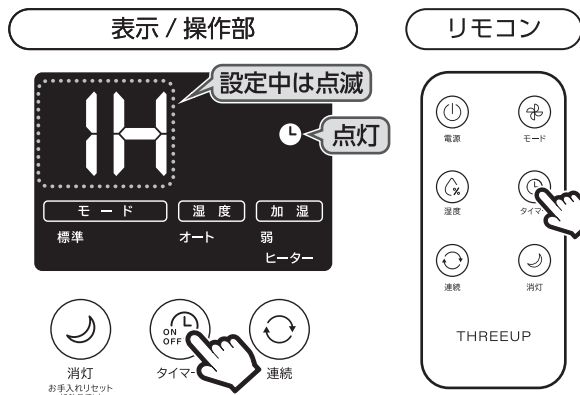
湿度設定を解除するときは、『モード』ボタンまたは『連続』ボタンを押してください。メモリー機能 (P.10参照) に準じたモードでの運転に切り替わります。

オフタイマーを設定する

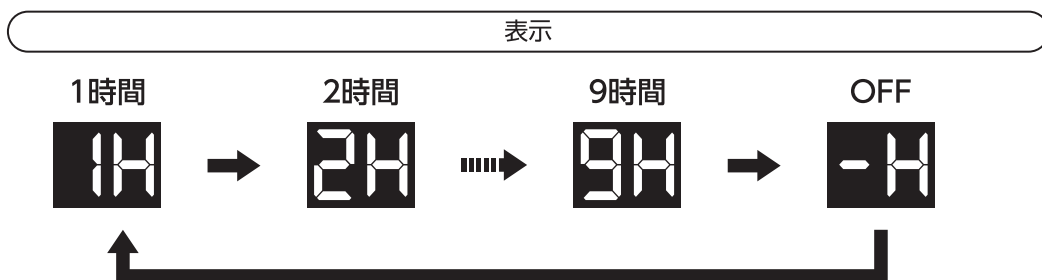
1～9時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を停止します。

■ オフタイマーの設定のしかた

- ① 運転中に本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
『タイマー』ランプが点灯して、ディスプレイが設定表示に切り替わり点滅します。



- ② ディスプレイの点滅表示中に『タイマー』ボタンを押して停止時間を設定します。
『タイマー』ボタンを押すたびに1時間単位で設定時間が切り替わります。
ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。ディスプレイの点滅表示中に他のボタンを押した場合は、表示されていた時間で設定されます。



- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイの表示が点滅から点灯に切り替わると、設定完了となります。
オフタイマーの設定中は『タイマー』ランプが点灯します。

■ オフタイマー設定完了後のディスプレイ表示

オフタイマー設定中は、次のように繰り返し表示します。

残り時間 (3秒表示) → 周囲湿度 (10秒表示)

■ オフタイマーの解除のしかた

オフタイマーを解除するときは、ディスプレイの表示が「-H」になるまで『タイマー』ボタンを繰り返し押ししてください。

ディスプレイの表示が点滅から周囲湿度表示に切り替わると、『タイマー』ランプが消灯します。

メモ

- 1時間経過するごとに残り時間が切り替わって表示します。
- オフタイマーとオンタイマーを同時に設定することはできません。

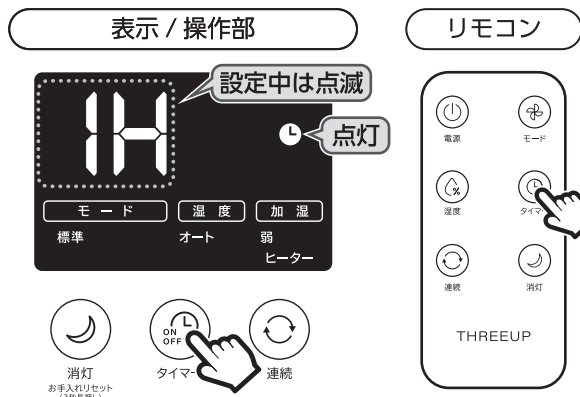
ご使用方法

オンタイマーを設定する

1～9時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を開始します。

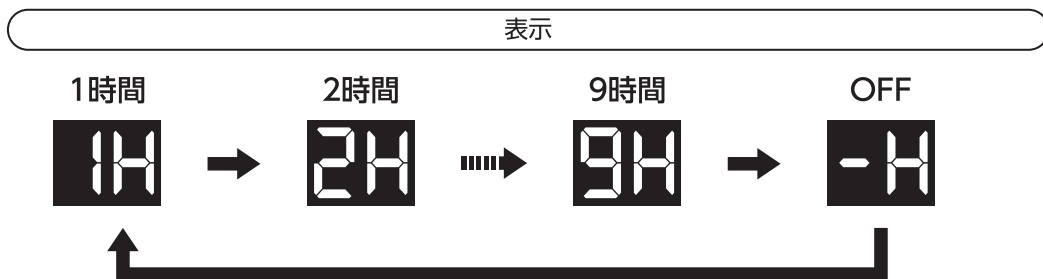
■ オンタイマーの設定のしかた

- ① 待機中に本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
『タイマー』ランプが点灯して、ディスプレイが設定表示に切り替わり点滅します。



- ② ディスプレイの点滅表示中に『タイマー』ボタンを押して開始時間を設定します。
『タイマー』ボタンを押すたびに1時間単位で設定時間が切り替わります。
ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。

メモ ディスプレイの点滅表示中に他のボタンを押した場合は、運転開始時の運転モードを設定できます。



- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイの表示が点滅から点灯に切り替わると設定完了となり、表示が消灯します。
オンタイマーの設定中は『タイマー』ランプが点灯します。
- ④ 設定した時間が経過すると、記憶された運転モードで運転を開始します。

■ オンタイマー設定中のディスプレイ表示

オンタイマーの設定中は、『タイマー』ランプのみ点灯します。
運転の開始までに残り時間と運転モードを確認したいときは、『電源』ボタン以外のボタンを押してください。

■ オンタイマーの解除のしかた

オンタイマーを解除するときは、ディスプレイの表示が「-H」になるまで『タイマー』ボタンを繰り返し押すか、『電源』ボタンを押してください。

メモ オンタイマーの設定完了後に電源ボタンを押すと運転を開始して、オンタイマーの設定はリセットされます。

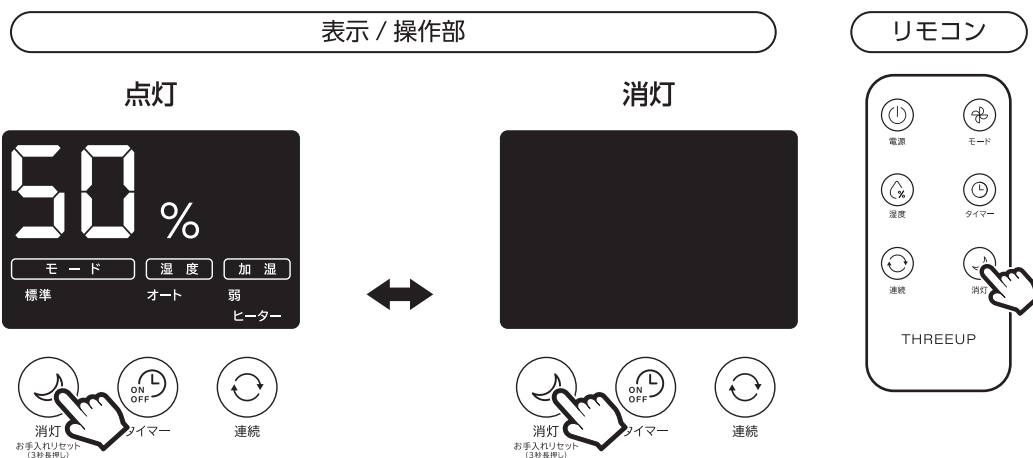
消灯モードを設定する

就寝時などに運転させたまま表示を消灯することができます。

■ 消灯モードの設定、解除のしかた

運転中に本体またはリモコンの『消灯』ボタンを押すと、ディスプレイの表示と全てのランプが消灯します。

もう一度『消灯』ボタンを押すと解除されます。



メモ

- 他のボタンを押すとディスプレイ表示が約5秒点灯します。点灯中に操作すると設定を変更できます。
- 消灯モード設定中に水がなくなると、下記の「給水のお知らせ」と同じ表示になりお知らせします。
- 消灯モード設定中に運転時間が112時間経過すると、『お手入れ』ランプが点滅表示します。

水タンクの水がなくなると

■ 給水のお知らせ

水タンクの水がなくなると『給水』ランプが点滅し、“ピーッピーッ”と電子音が鳴って、自動で運転を停止します。

同時にディスプレイの表示が「-」に切り替わります。

引き続きご使用になる場合は、水タンクに給水したあとに『電源』ボタンを押して電源を切り、もう一度『電源』ボタンを押してください。

運転中に水タンクを取り外すと…

運転中に水タンクを取り外すと運転を停止し、給水のお知らせと同じ表示になります。

引き続きご使用になる場合は、『電源』ボタンを押して電源を切り、もう一度『電源』ボタンを押してください。

メモ

消灯モード設定時に水がなくなったときは電子音は鳴りません。



お手入れと保管方法

警告



必ず守る

- お手入れや点検、保管の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電やケガの原因になります。
- お手入れや点検、保管の際は、本体が十分に冷めてから行ってください。やけどの原因になります。

注意



必ず守る

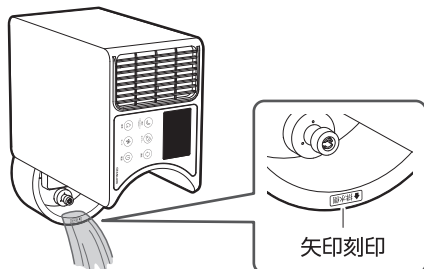
長期間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、水タンクと本体（水そう部）に残った水を捨ててください。

- 水タンクと本体（水そう部）に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
- 水タンクと本体（水そう部）に水が入ったまま保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。

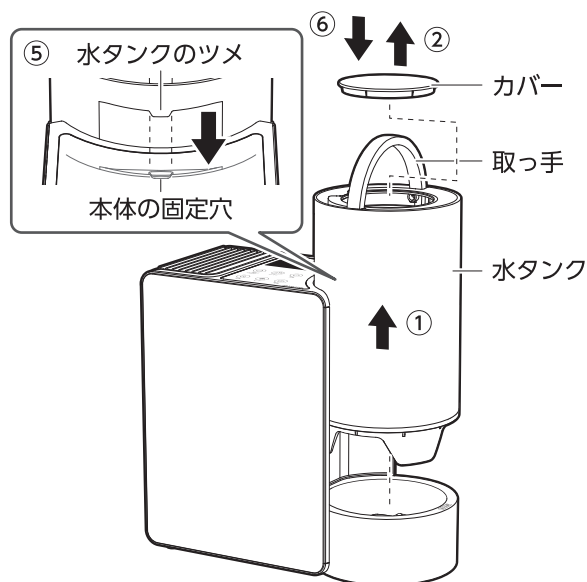
各部のお手入れは1週間に2回以上行ってください。

■ 水の捨てかた

- ① 本体から水タンクを取り外します。
取っ手を持って取り外してください。
- ② 水タンクからカバーを取り外します。
- ③ 水タンクに残った水を捨てます。
- ④ 本体（水そう部）に残った水を捨てます。



本体を傾けた際に加湿フィルター部分から水が流れる可能性があります。浴室など濡れてもよい場所で排水してください。

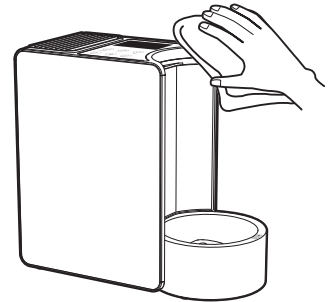


- ⑤ 本体に水タンクを取り付けます。
水タンクのツメを本体の固定穴に差し込んでください。
- ⑥ 水タンクにカバーを取り付けます。

■ 本体外側のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてお手入れしてください。
汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかい布で汚れを拭いたあと、洗剤が残らないように固くしぼった柔らかい布で拭き取ってください。
仕上げに柔らかい布で乾拭きしてください。

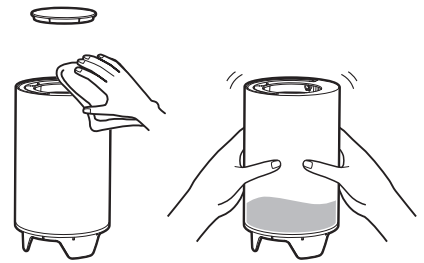
- お手入れには塩素系・アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- お手入れのあとは、本体が乾いてからご使用ください。



■ 水タンクとカバーのお手入れ

- 水タンクの外側とカバーは、本体と同様のお手入れをしてください。
- 水タンクの内側は、抗菌カートリッジと給水弁キャップを取り外し、少量の水を入れて軽く振り洗いして水を捨てます。

汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。
洗剤が残らないよう、しっかりすすいでください。



■ 抗菌カートリッジと給水弁キャップのお手入れ

抗菌カートリッジと給水弁キャップは水洗いしてください。



■ 加湿フィルターカバーのお手入れ

- 加湿フィルターカバーの取り付け/取り外しかた

- ① フックを押さえながら手前に引いて取り外します。
- ② 加湿フィルターカバーのお手入れをします。
加湿フィルターカバーは水洗いしてください。
お手入れ後は陰干しして十分に乾かしてください。

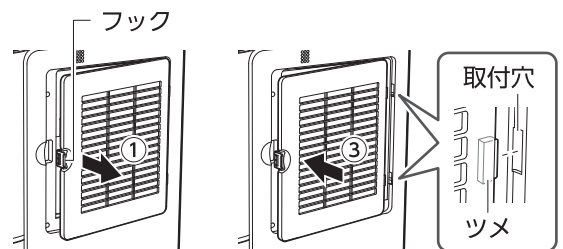
注意

- 掃除機でのお手入れはしないでください。吸気フィルター（網部分）が破れるおそれがあります。
- ブラシなどで強くこすらないでください。破損の原因になります。

- ③ 加湿フィルターカバーのツメ（2か所）を先に右側の取付穴に差し込んでから、フックを奥まで押し込んでください。

注意

加湿フィルターカバーを取り外した状態で運転しないでください。



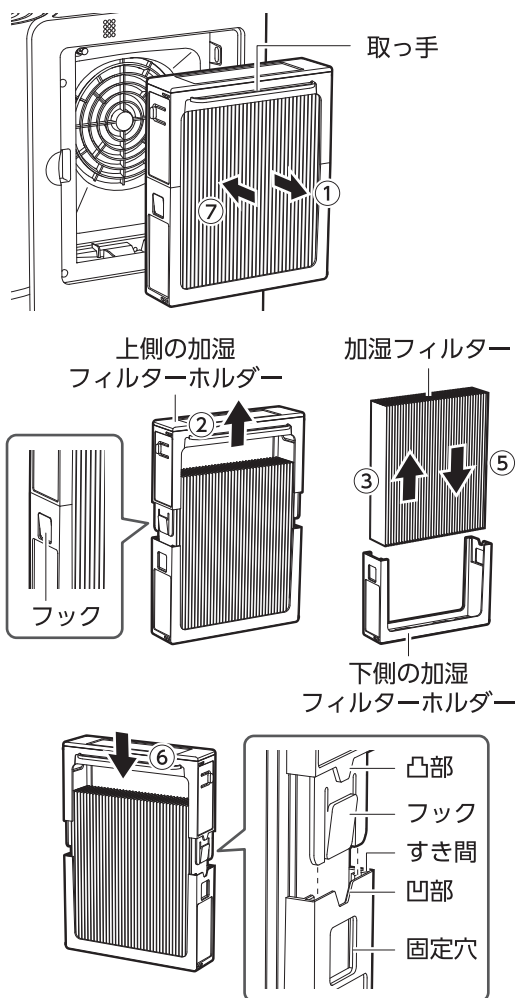
■ 加湿フィルターホルダー、加湿フィルター、吸気口のお手入れ

加湿フィルターは、ご使用とともに水道水に含まれる不純物（カルシウムなど）が気化せずに残り、白色や赤茶色の固まりが付着したり、加湿フィルターが黄色っぽく変色したりすることがありますが、異常や故障ではありません。
雑菌やカビが繁殖し、臭いの発生や加湿量の低下の原因となるため、必ず定期的にお手入れを行ってください。

● 加湿フィルターホルダーと加湿フィルターの取り付け/取り外しかた

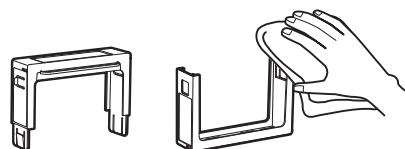
注意 運転停止後は、内部の水を循環させるため、約30秒間水が流れます。30秒以上お待ちいただいてから加湿フィルターホルダーを取り外してください。

- ① 加湿フィルターホルダーの取っ手を持ち、まっすぐ引いて本体から取り外します。
- ② フック（2か所）を押えながら上側の加湿フィルターホルダーを引き抜きます。
- ③ 下側の加湿フィルターホルダーから加湿フィルターを取り外します。
- ④ 各部のお手入れをします。
お手入れのしかたは下記をご確認ください。
- ⑤ 加湿フィルターを下側の加湿フィルターホルダーに取り付けます。
- ⑥ 上側の加湿フィルターホルダーを下側の加湿フィルターホルダーに取り付けます。
凹凸部を右側に向け、フックの両側をすき間に差し込み、固定穴に引っ掛けてください。
- ⑦ 加湿フィルターホルダーを本体に取り付けます。
しっかり奥まで押し込んでください。



● 加湿フィルターホルダーのお手入れ

加湿フィルターホルダーは、本体と同様のお手入れをしてください。



●加湿フィルターのお手入れ

加湿フィルターは水洗いしてください。
お手入れのあとは陰干しをして十分に乾かしてください。

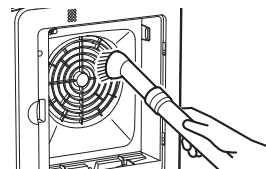
注意 加湿フィルターを押さえたり、引っ張ったりして無理な力を加えないでください。
変形や破損の原因になります。



- ・1か月に一度または『お手入れ』ランプ点灯時は、クエン酸を使った浸け置きを推奨します。詳細は「臭いや水あかが気になるときは」をご確認ください。
- ・浸け置きをしても臭いや水あかが落ちない場合は、加湿フィルターの交換時期です。
※交換時期は、水質や使用頻度で変わります。

●吸気口のお手入れ

吸気口にたまったホコリは掃除機で吸い取ってください。



『お手入れ』ランプが点滅したときは

運転時間が112時間（1日8時間×2週間を想定）を経過すると、『お手入れ』ランプが点滅して、加湿フィルター等の洗浄時期をお知らせします。
「臭いや水あかが気になるときは」に従って、加湿フィルターの洗浄をしてください。

『お手入れ』ランプが点滅していなくても、次のような場合は「臭いや水あかが気になるときは」に従って洗浄をしてください。

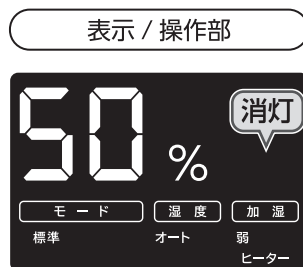
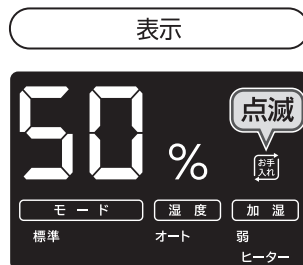
- ・水タンクの水の減りが遅くなったと感じたとき
- ・吹き出す風の臭いが気になったとき
- ・乾拭きでは水あかが落ちないとき

●運転時間のリセットのしかた

本体の『消灯』ボタンを3秒間長押しすると、“ピツ”と電子音が鳴って『お手入れ』ランプが消灯し、運転時間がリセットされます。

メモ

リモコンの『消灯』ボタンでは解除できません。



臭いや水あかが気になるときは

本体（水そう部）と加湿フィルターの臭いや水あかが気になるときは、洗剤またはクエン酸を使って浸け置きします。

浸け置き後はきれいな水で十分にすすぎ洗いしてください。

◎臭いが気になるときは

ぬるま湯に台所用中性洗剤または食器・調理器具用洗剤を溶かして浸け置きします。

- 使用量：洗剤に記載された使用量に従ってください。
- 浸け置き時間：約30分～60分

◎水あかが気になるときは

ぬるま湯にクエン酸を溶かして浸け置きします。

- 使用量：約6g（大さじ2/3杯）/ 1L
- 浸け置き時間：約30分～60分

注意

- 台所用中性洗剤または食器・調理器具用洗剤とクエン酸は同時に使用しないでください。
- 40℃以上のお湯では浸け置きしないでください。破損や変形の原因になります。

■ 保管方法

- 水タンクと本体（水そう部）の水は必ず捨ててください。
- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。湿ったまま保管すると、カビの発生や異臭、故障の原因となります。
- リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極（+/-）にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- お買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、直射日光を避け、湿気の少ない所に保管してください。

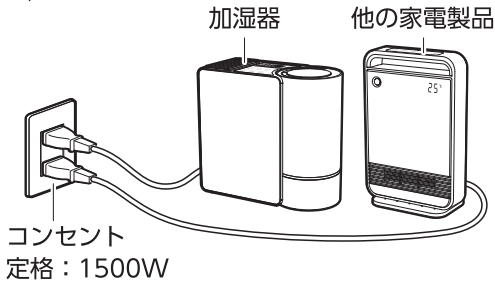
コンセントの点検

- コンセントなどの配線器具には寿命があります。

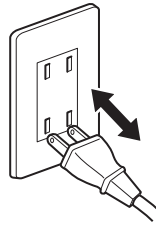
経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

誤った使いかたの例

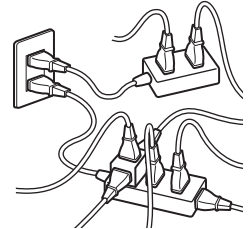
- ✕ 定格容量いっぱいで使用する



- ✕ 電源プラグを斜めに抜き差しする



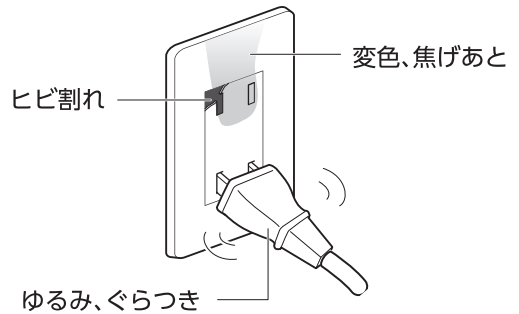
- ✕ タコ足配線する



- 下記のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- ・電源プラグの抜き差しがゆるい。
- ・電源プラグやコンセントが熱い。
- ・表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
- ・表面が変色、焦げあとがある。

そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。



⚠ 注意



禁止

破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。焼損や火災、事故の原因となります。

長年ご使用の製品はよく点検を行ってください。

- このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードや電源プラグが破損した。
- ・コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・焦げ臭いにおいがする。
- ・その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまで点検をご依頼ください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが外れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに接続してください。
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押していない。 周囲湿度が設定湿度を超えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押して運転を開始してください。 『湿度』ランプが点滅している場合は、運転モードまたは設定湿度を変更してください。
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> 水がなくなった。 オフタイマーが作動して停止した。 周囲湿度が設定湿度を超えている。 オートモードで周囲湿度が60%以上になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水がなくなると『給水』ランプが点滅し、警告音が鳴ります。水タンクに給水してください。 引き続きご使用になる場合は、『電源』ボタンを押して運転を開始してください。 『湿度』ランプが点滅している場合は、運転モードまたは設定湿度を変更してください。 周囲湿度が下がるまでお待ちいただくか、連続モードでご使用ください。
異臭がする、水が変色している	<ul style="list-style-type: none"> 水タンク、加湿フィルターホルダー、加湿フィルターなどが汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「お手入れと保管方法」に従って、定期的にお手入れをしてください。
湿度が上がらない	<ul style="list-style-type: none"> 適用床面積を超えた部屋で使用している。 部屋の窓やドアが開いている。 加湿フィルターが汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適用床面積内でご使用ください。 窓やドアを閉めてご使用ください。 「お手入れと保管方法」に従って、定期的にお手入れをしてください。
ミストが見えない	<ul style="list-style-type: none"> 水を含んだ加湿フィルターに風を当てて湿った空気を出す方式のため、スチーム式や超音波式のように湯気やミストは見えない。 	<ul style="list-style-type: none"> 異常や故障ではありません。
リモコンで動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ボタン電池が消耗している。 ボタン電池の向き(+/-)が間違っている。 本体の受信部にリモコン送信部を向けていない。または本体の受信部とリモコン送信部の間に障害物がある。 本体とリモコンとの距離が離れている。または操作範囲から外れている。 本体のリモコン受信部またはリモコンの送信部が汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいボタン電池に交換してください。 ボタン電池を正しい向きに入れ直してください。 障害物を取り除き、リモコン送信部を本体の受信部に向けてください。また、誤作動などが発生する場合は、本体の設置場所を変更してください。 操作距離は直線で約2m、操作範囲は約30°以上です。操作位置または本体の設置場所を変更してください。 本体の受信部とリモコンの送信部のお手入れをしてください。
ギョルギョルなどの音が鳴る	<ul style="list-style-type: none"> 水を吸い上げるためのポンプが作動し、まれに空気が入ると鳴る。 	<ul style="list-style-type: none"> 異常や故障ではありません。そのままご使用ください。
E1が表示される	<ul style="list-style-type: none"> 加湿フィルターホルダーが正しく取り付けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 加湿フィルターホルダーを正しく取り付けたあと、もう一度『電源』ボタンを押してください。
表示が消えている	<ul style="list-style-type: none"> 消灯モードを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本体の『消灯』ボタンを押してください。
電源を切っても停止しない	<ul style="list-style-type: none"> フィルター乾燥モードが動作している。 	<ul style="list-style-type: none"> 加湿フィルターを乾燥させるために、1時間動作します。異常や故障ではありません。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。